
HTBasic 用サブプログラム Klabel 仕様について

(HTBasic for Windows バージョン 10.0.0 以降のバンドル版)

(注)弊社にライセンス登録をされたお客様は無償で使用できます

・概 要

Klabel は、HTBasic 上でプロッター出力時に使用する LABEL ステートメントの代わりに使用する、漢字を扱うためのサブプログラム(ライブラリー)です。このサブプログラムにより、ディスプレイやプロッターに漢字を出力することが可能になります。

注) Windows 標準 Printer(WIN-PRN)をプロッター(HP7475A 等)の代わりに使用するには、弊社がサポートする『HPGL UTILITY for HTBasic』『HPGL LPR Printer UTILITY』をあわせてご使用になると、よりお客様の目的にあった出力環境ができます。

・動作するのに必要なファイル

Demoj10.bas : メインプログラム
Klabel10.bas : KLABEL サブプログラム
KFNT : フォントデータファイル
GETKNJ.DLL : システムファイル
GETKNJ8.CSB : システムファイル
KANJI1.DAT : システムファイル

・インストール方法

HTBasic に添付の CD からインストールを行ってください。インストール用実行ファイルは「Klabel10.exe」で、解凍先は HTBasic のインストールされているフォルダー(ディレクトリー)を設定してください。

例) "C:\Program Files (x86)\HTBwin 10.1"

・使用方法 (準備)

- 実行時に HTBasic 内で設定する場合(ユーザプログラムの最初に
IF NOT INMEM("Getknj") THEN
LOADSUB ALL FROM "KLABEL9.BAS"
END IF
終了前に
DELSUB "Getknj","Klabel"
を実行すると、SAVE/RE-SAVE/STORE/RE-STORE を行っても Klabel モジュールがユーザプログラムとともに保存されることはありません。
- 使用前に HTBasic 上のプログラムに、Klabel を組み込むことができます。
LABEL ステートメントを使用したいプログラムをロードした後、
コマンドラインから
LOADSUB ALL FROM "KLABEL9.BAS"
とし、あらためて RE-STORE すれば、Klabel も合わせて RE-STORE されますので、その後プログラムをロードするだけで即実行することができます。

・使用方法 (プログラミング)

使用法は、LABEL 文に準拠します。サブプログラムの呼び出し方は、

CALL Klabel("文字列" , <文字間隔>) となります。

文字列には、シフトJISコード第一水準による全角文字列が入ります。半角文字を含めても動作しますが、その場合半角文字は全角文字に変換されて出力されます。

文字間隔とは文字列が出力される場合の、各文字間の間隔のことを指します。値を大きくするほど、文字間隔は大きくなります。また、グラフィック制御のステートメント (LDIR, CSIZE 等) により、 LABEL 文同様の表現が可能です。

(注1) Legacy Editor で EDIT ラインで漢字をインプットをしている最中は、字化けを起こしているように見えますが、<CR>で編集確定をすると正しく表示します。

(注2) CSIZE で、LABEL 文と同じサイズで同じ大きさの表示内なりませんので、CALL Klabel 文の実行前に必要とする表示にあわせ調整してください。

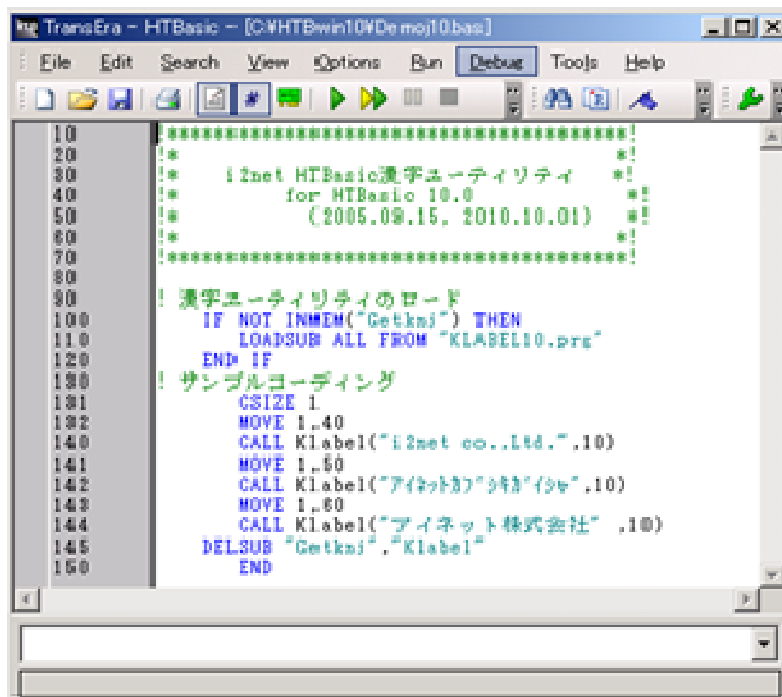
・動作環境について

Klabel が正常に動作するためには、漢字フォントデータファイル **KFNT** が存在する必要があります。ファイルが存在するディレクトリを環境変数により指定することができます。

注) 通常は HTBasic のインストール先ホルダーでのご使用をおすすめいたします。

・漢字表示 HTBasic デモプログラム (Demoj10.bas)

右のプログラムを実行すると HTBasic での漢字表示の例を見ることが出来ます。



```
10 *****!
20 *!
30 *!
40 *! i2net HTBasic漢字ユーティリティ *!
50 *! for HTBasic 10.0 *!
60 *! (2005.09.15, 2010.10.01) *!
70 *! *****!
80
90 ! 漢字ユーティリティのロード
100 IF NOT INMEM("Getkaji") THEN
110 LOADSUB ALL FROM "KLABEL10.prg"
120 END IF
130 ! サンプルコーディング
131 CSIZE 1
132 MOVE 1,40
140 CALL Klabel("i2net co.,Ltd.",10)
141 MOVE 1,50
142 CALL Klabel("アイネット")*(9)!(10)
143 MOVE 1,60
144 CALL Klabel("アイネット株式会社",10)
145 DELSUB "Getkaji","Klabel"
150 END
```

結果は、次のようになります。



[実行時のエラー]

ERROR 56 IN 110 File or Path not found

原因) LOADSUB ALL FROM "KLABEL10.BAS" のパスが分かりません。
対応) KLABEL のインストール先のパスを合わせてください

[KLABEL9 から KLABEL10 への改善点]

- 1) 文字の大きさを合わせるため、半角を全角にするようにしました
- 2) Windows XP / VISTA / 7 / 8 / 10 対応となりました

[KLABEL8 から KLABEL9 への改善点]

- 1) 一部の文字化けに対応しました
- 2) HTBasic9.3 から WindowsXP 対応です

[その他 HTBasic での漢字 LABEL 対応]

- 1) HTBasic 標準の GFONT IS "MS Mincho",128 をあわせてご使用検討ください
- 2) GFONT IS "MS Mincho",128 はプロッター (HPGL) に対応していません
標準の DUMP GRAPHICS のみをご使用の場合お勧めです

2020.04.18